

ひろがれ わたし

指導時期 2学年 2月 - 3月
 指導時間 12時間
 内容 (8)(9)

本単元の
ねらい

自分の成長の様子を自分なりの方法で調べたり、工夫して表現したりすることを通して、自分の成長を実感し、自分の成長には自分のがんばりと多くの人の支えがあることに気づくとともに、これからの自分の成長に具体的な思いや願いをもって、意欲的に生活することができる。

	生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気づき
単元の評価規準	自分の成長の様子について、成長を支えてくれた人々と進んで交流しようとしている。 自分の成長の様子に関心を持ち、これまでの成長を振り返ったり、今後の自分の成長について具体的な思いや願いをもちながら、意欲的に生活したりしようとしている。	自分の成長の様子について、表現する内容や方法を工夫しながら、伝え合い、交流している。 振り返りの視点をもって、成長の実感を表現するとともに、自分の成長を支えてくれた人々への感謝の気持ちを、自分なりに表現したり伝えたりしている。	身近な人々との交流活動を通して、互いのことを理解し合い、心を通わせてかかわることの楽しさを実感している。 自分のよさや成長に気づき、自分をかけがえのない存在と感じることができるとともに、自身の成長には、自分のがんばりと、さまざまな人の支えや愛情があることに気づいている。

小単元名(ページ) 活動のねらい	時数	活動の流れ	事前準備・活動への支援・配慮事項	評価規準	評価の場面(評価方法)	おおむね満足できる 子どもの姿	具体的な子どもの姿と支援
---------------------	----	-------	------------------	------	-------------	--------------------	--------------

ホップ画面 (下p74-75) 自分の成長について関心を持ち、自分のことを調べてみたいという意欲を高めることができる。	1	<ul style="list-style-type: none"> ホップ画面に描かれたものと自分の成長とを重ね合わせながら、自分がしてきたこと、できるようになったことなどを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中でがんばっている様子を、記録しておいたり朝の会や帰りの会で伝え合う機会を設けたりして、振り返る材料をたくさん用意しておく。 学校生活の中で、子どもの成長の足跡が見られるような具体物を探しておく。 家庭や幼稚園などに活動の趣旨を説明し、思い出の写真やおもちゃなどをもとに成長について子どもに話してほしいことを伝えておく。 	関心・意欲・態度 自分の成長に関心を持ち、どのように成長してきたかを意欲的に調べようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> 今までにしてきたことやできるようになったことについて、話をする場面(発言・行動観察) 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の絵を見たり、友だちの話を聞いたりしながら、今までの印象深い出来事やエピソードなどを話している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の絵を見ながら、どんな点で成長しているか気づいた子どもをほめ、自分の成長についても関心がもてるようにする。 具体的な体験について話ができなかった子どもには、もっと詳しく知るためにはどうすればいいかをたずね、活動の方向をイメージできるようにする。 振り返ることに関心を示さない子どもには、学校生活の中でできるようになった経験を思い出させ、イメージをふくらませるようにする。
じぶんとけん (下p76-79) 自分の身の回りの物や好きな物、得意なこと、友だちとのかかわりなどから、今の自分自身について知ることができる。	1	<ul style="list-style-type: none"> 小さい頃から大切にしている物や自分の特技、好きなことなどについて調べる。 入学してからできるようになったことや、以前と比べて上手になったことなどを振り返る。 友だちのよい所などを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に家庭に連絡を取り、子どもが大切にしている物を借りたり、それにまつわるエピソードを聞いたりしておく。 入学時から蓄積した写真や記録、子どもの作品や文集などを、子どもが活用しやすいように掲示したり、ファイルしたりする。 友だちのよい所などを書くためのカードを用意しておく。 普段から、子どもが気づいたことなどを記録として残しておけるよう、カードやデジタルカメラなどを準備しておくことよい。 	関心・意欲・態度 大切な物や日常使っている物、過去の出来事や自分の得意なことなどに関心を持ち、自分について知ろうとしている。 思考・表現 自分ができるようになったことや友だちのよさを考えたり、表現したりしている。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きなことや思い出の品、出来事などのエピソードを話す場面(発言・行動観察) 	<ul style="list-style-type: none"> 大切にしている物や日常使っている物についての思いを進んで話している。 自分の好きなことや自分の特徴について、自信をもって話そうとしている。 自分ができるようになったことを友だちに話したり、友だちのよさを認めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 大切にしている物が人から贈られた物の場合、いつ・だれに贈ってもらったのかをたずねることで、贈ってくれた人の思いに気づくことができるようにしたい。 人とのかかわりを取り上げて話をした子どもをほめ、広めることで、みんなの意識を高める。 友だちのよい所について発表している子どもを賞賛する。 言葉で説明するのが難しい場合は、実演させたり実際に具体物を持ってきたりするなど、さまざまな表現方法があることを助言する。
わたしのことをおしえてね (下p80-85) 自分のことを身の回り	8	<ul style="list-style-type: none"> 自分の成長について知っている人を考える。 自分自身について、いろいろな人に話 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが幼稚園や保育園、商店などを訪れる場合は、事前に依頼し、時間等の打ち合わせをしておく。 教師が一人で対応できない場合は、ITを組んだり、保護者にボランティアを 	関心・意欲・態度 自分の成長に関心を持ち、身の回りの人に聞こうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの人にインタビューしたり、資料を集めたりしている場面(発言・行動観察・カード) 	<ul style="list-style-type: none"> 家族や地域の人、幼稚園や保育園の先生など、自分とかかわりの深い人に接して、自分のことを知ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 小さい頃の写真などが少なく、振り返りの手がかりが見つからない子どもには、入学後の成長を振り返ることができるようにするなど、教師が資料を提示し、意欲をもてるようにする。

<p>の人に聞くなどして振り返り、それを自分なりにまとめて表現することで、自分のがんばりや成長を支えてくれた人に気づき、感謝の気持ちをもつことができる。</p>		<p>を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べたことを自分なりの方法でまとめたり、表現したりする。 	<p>依頼したりするなどしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べたことを記録しておけるように、ノートやカードを用意しておく。インタビューカードなどは、子どもたちと相談して何種類かを用意しておきたい。 インタビューする人に対する態度や言葉づかいについて、事前に学級で確認しておく。 自分の思いを自分なりに表現し、発表できるように、用紙やカードなどの材料は、いろいろと準備しておきたい。 まとめたことをどのような形で発表するのかを事前に計画し、保護者や地域の人を招待する場合は、早めに予定を伝えるようにしたい。 自分を支えてくれた人、インタビューする人などの写真がほしいと思う子どもがいた場合には、デジタルカメラなどを使用できるようにしたい。 	<p>思考・表現 さまざまな手がかりをもとに、過去の自分と現在の自分とを比較して考えている。</p> <p>思考・表現 自分のことについて調べたことを、自分なりの方法で表現したり、伝えたりしている。</p> <p>気づき 自分について調べたことから、自分が成長していることや自分のがんばりに気づいている。</p> <p>気づき 多くの人が自分の成長を温かく見守り、支えてくれていることに気づいている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 集めた資料やインタビューの内容から、自分の成長について考えている場面（発言・行動観察・カード） 調べたことを、アルバムや新聞、手紙など、自分なりの方法にまとめたり、それを表現したりする場面（発言・行動観察・作品） 調べたことからわかったことをまとめたり、発表したりする場面（発言・行動観察・作品） 調べたことからわかったことをまとめたり、発表したりする場面（発言・行動観察・作品） 	<ul style="list-style-type: none"> インタビューしたり資料を集めたりして、自分の成長を振り返っている。 調べたことについて、自分の気持ちや感想をつけ足して表現している。 自分の成長についてわかったことをまとめたり、発表したりしている。 できるようになったこと、大きくなったこと、役割が増えたことなどに気づいている。 自分の成長にかかわる人の存在を知り、感謝の気持ちを表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 調べ方がわからず、とまどっている子どもには、教師と一緒にインタビューカードを作り、だれにどんなことをインタビューすればいいのか、視点を話し合うようにする。 十分な情報を得ることができなかった子どもには、聞き方や聞いた内容について再度吟味させ、繰り返し聞いてみるよう助言する。 表現方法にとまどっている子どもに対しては、ほかの友だちの工夫を紹介したり、助言したりしながら意欲を引き出す。 感謝の気持ちが表れている言葉を捉えて、大切にされてきたことが実感できるように言葉をかけて意識づける。 発表を見て、友だちのよさを見つけられた子どもをほめる。 感謝の気持ちを表現しない子どもには、インタビューした相手が自分のことをどう思っていたかを聞くようにうながし、見守ってくれる人の存在を意識できるようにする。
<p>これからのわたし (下p86-87)</p> <p>自分に自信をもち、これから挑戦してみたいことなどを考え、進級やこれからの生活に期待をもつ。</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> これからの生活を考え、自分自身の目標や願いについて話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分ができるようになったことをもとに、これからやっていきたいことをカードや手紙に書けるよう、用意する。 3年生の時間割やこれまでの学習ファイルなど、目標をもてそうな資料を準備しておく。 	<p>関心・意欲・態度 これからの自分の成長に思いや願いをもって、意欲的に生活しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分がやってみいたいことや、これからの可能性について書いたり、話し合ったりする場面（発言・行動観察・作品） 	<ul style="list-style-type: none"> 自分ができるようになったことに自信をもち、もっとがんばりたいことや取り組みたいことなどを、意欲的に話している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「こんなにできるようになったね」と具体的な成長をほめ、「今度は何をしてみたい?」などの働きかけをして、「次は をしたい」などの具体的なめあてをもたせる。 意欲的な目標を話している子どもをほめ、話し合いが前向きになるよう、方向づけをする。
<p>ジャンプ画面 (下p88-89)</p> <p>未来の自分への夢を広げ、自分なりの思いや願いをもつ。</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ジャンプ画面を見ながら、将来の夢などについて話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来への思いや夢を書くカードなどを用意しておく。 下巻巻末にある紙飛行機用紙を活用すると、夢を顕在化させ、楽しく活動することができる。 	<p>関心・意欲・態度 自分の成長を実感して得た自信をもとに、これからさらに成長しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 将来の夢を書いたり、話し合ったりする場面(発言・作品) 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の成長や夢について楽しそうに話したり、書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「今までがんばってきたから、成長したんだね」などと賞賛し、これからの活動への意欲をもたせる。 自分なりの夢が見つけれない子どもには、発表したときの資料を再度見ることで、イメージをふくらませる。 個性あふれる夢に共感し、どの子どもの夢に対しても尊重した話し合いになるようにする。